

のり海況速報 第6報 (23-6)

平成23年12月7日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/5：内湾(わかふさ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報、東京湾口海況図・ふさなみ航走水温データ(12/1-7)
 拓南観測データ(11/1-12/5)
 モニタリングポスト(12/5：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

内湾の表層水温(図1)はほぼ順調に降下し、現在ほぼ15~16℃台になっています。一方、11月に入って、内房北部地区の漁場周辺まで流入した沖合水は下旬頃から小康状態となり、内房北部の表層水温も15~16℃台まで下がっています。

しかし、東京湾口への沖合水の流入は依然継続しており、内房北部縦断面では(図2)浦賀水道航路入口付近の15m以深に水温18℃以上・塩分34以上の水塊が沿岸に向かって湧昇し、また、本日の東京湾口部の水温が20℃台まで上昇していますので、この動きには十分な注意が必要です。

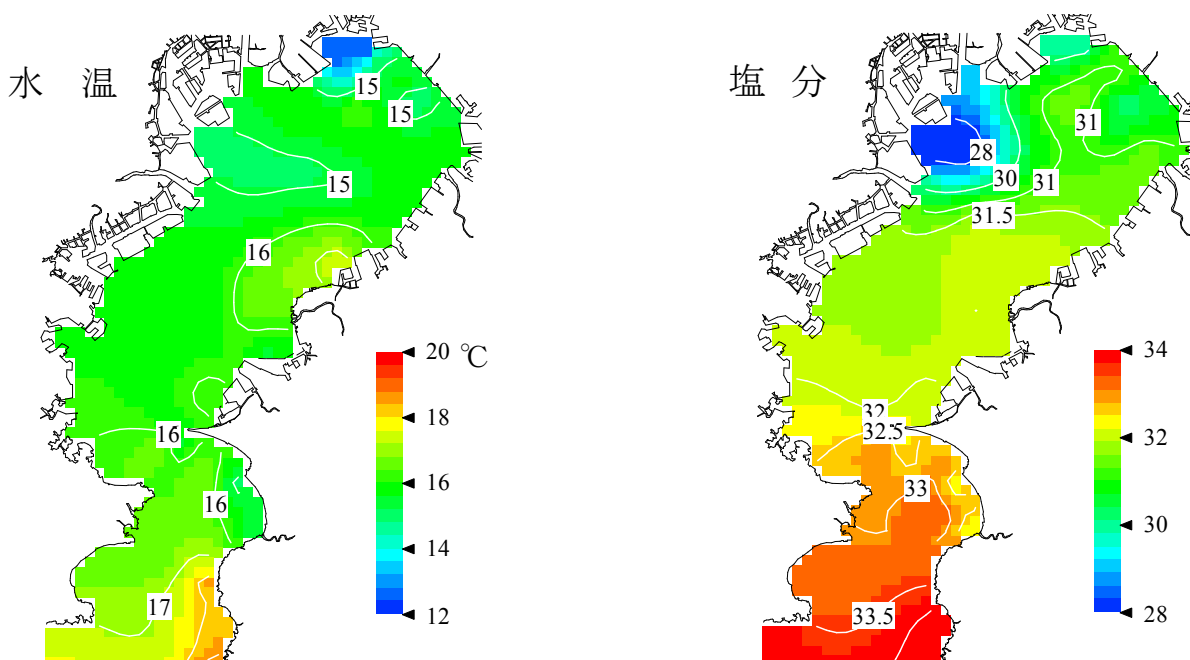


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾～内房北部：平成23年12月 5日)

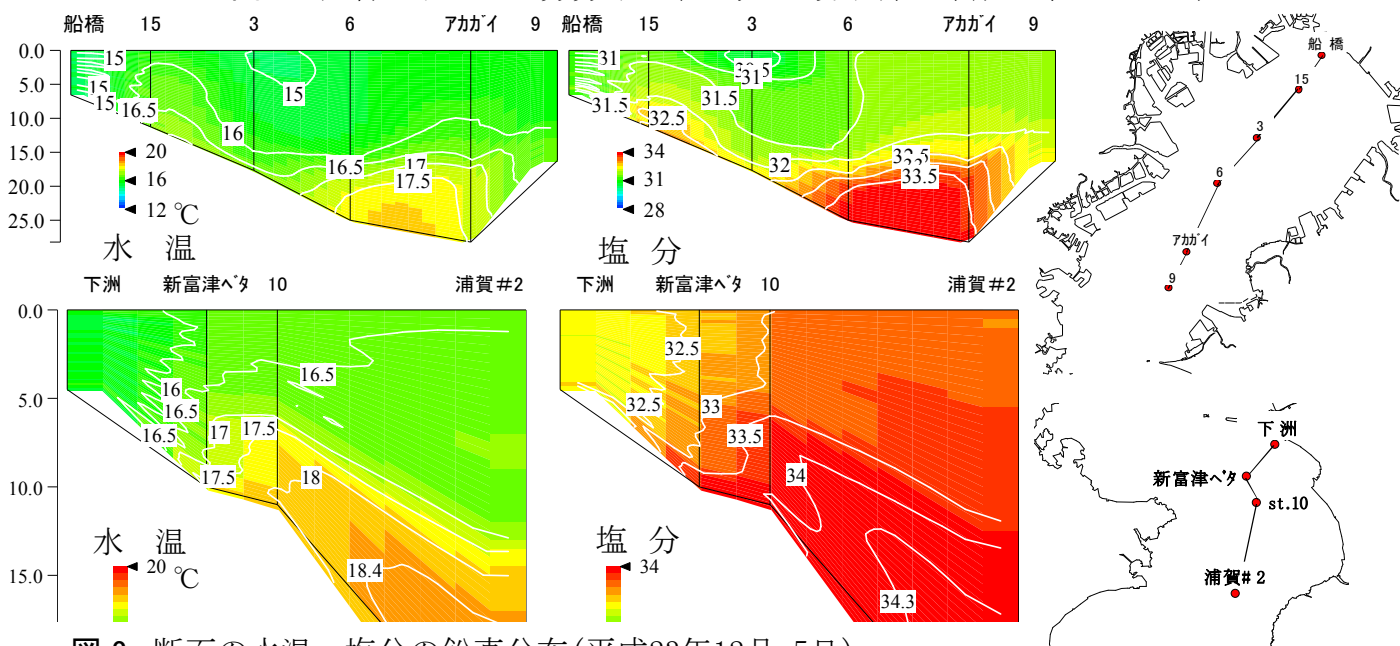


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成23年12月 5日)

【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は全域で発生していません。pHは8.2～8.4の範囲にあり、透明度は大貫から湊地先にかけてやや低くなっていますが、おおむね5m以上あります。水色は緑色で、プランクトンも非常に少なく、渦鞭毛藻類がわずかみられる程度です。

表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも全域で十分あり、各地先の栄養塩濃度(図4)もより養殖にとって問題ない濃度を示しています。

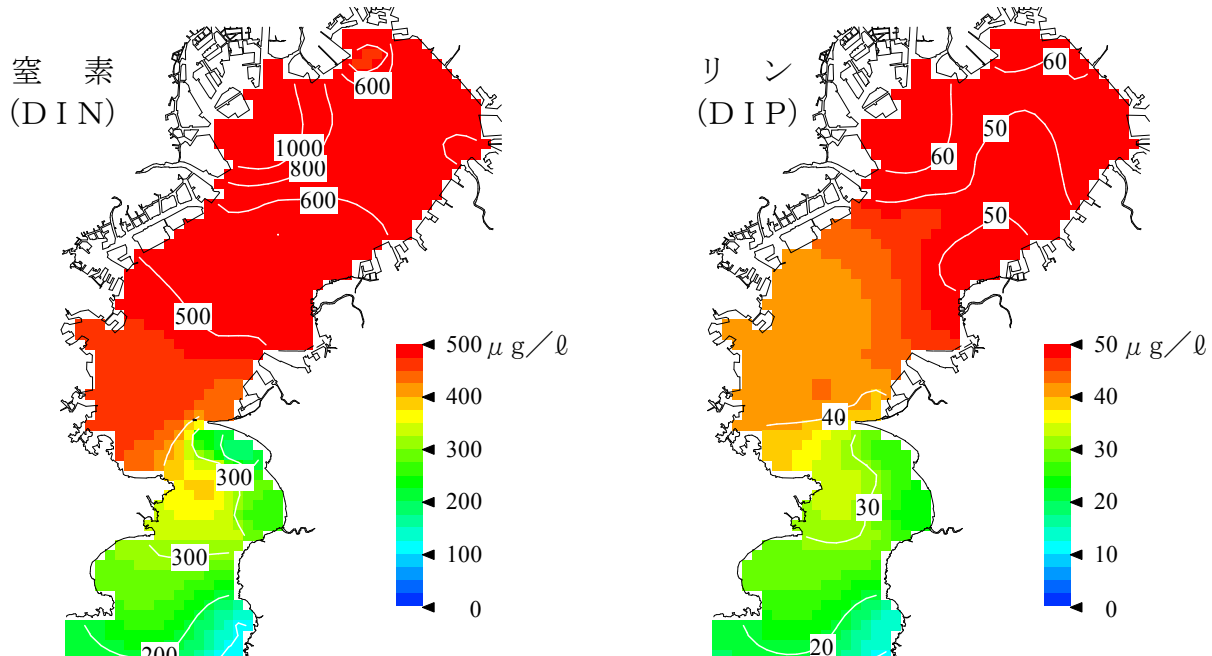


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾～内房北部：平成23年12月 5日)

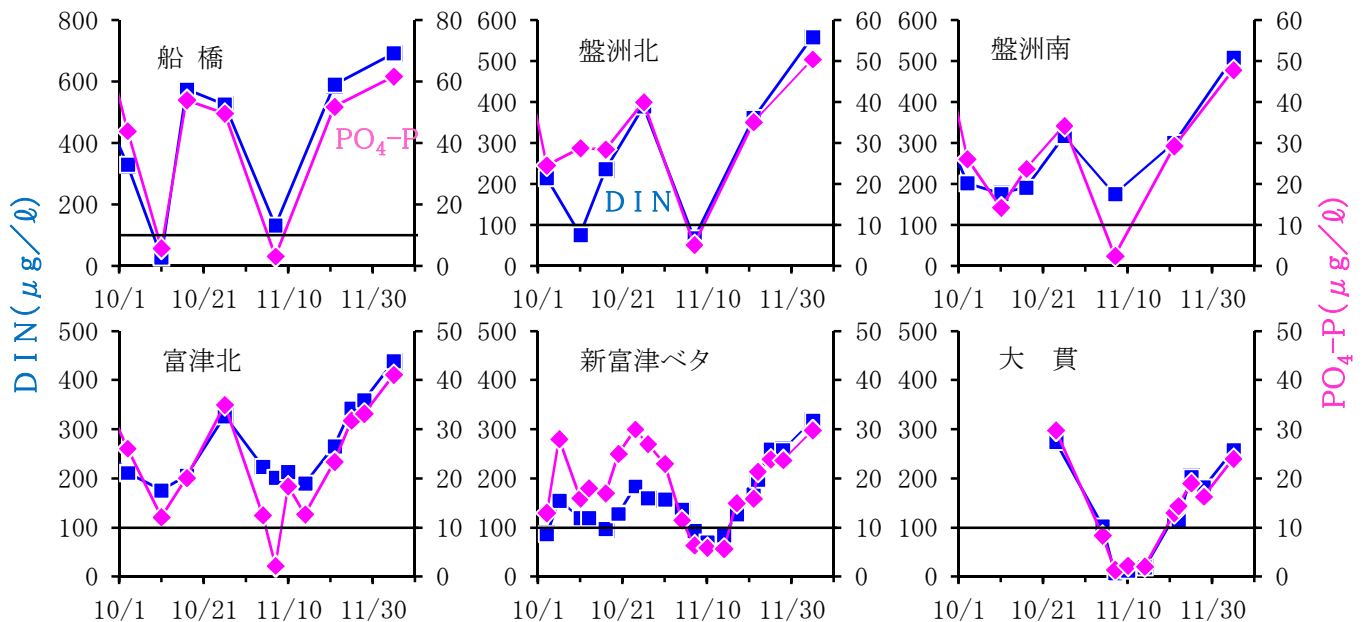


図4 各地先における栄養塩濃度の経過 (表層：平成23年10月1日～12月5日)
(図中の横線はノリの色落ちをひき起こすとされる目安の濃度)

刈養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各刈養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”刈養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html